

東洋大学学術情報リポジトリ Toyo University Repository for Academic Resources

東洋大学社会福祉学会活動報告

雑誌名	東洋大学社会福祉研究
巻	11
ページ	50-50
発行年	2018-07
URL	http://id.nii.ac.jp/1060/00010157/

東洋大学社会福祉学会活動報告

【2017 (平成29) 年度】

8月6日 (日) 第12回大会開催 (会場：東洋大学白山キャンパス8号館7階125記念ホール)

プログラムの内容は以下の通りであった。

大会テーマ：『ソーシャルワーク実践におけるストレングスの視座』

総司会：荻野剛史会員 (社会学部社会福祉学科准教授)

10：00 開会あいさつ (秋元美世会長)

10：10～12：00 大学院生・修士生研究報告

1. 森山千賀子氏 (福祉社会デザイン研究科社会福祉学専攻博士後期課程)

「ケアラーの4つのモデルと支援のあり方に関する検討」

2. 鈴木 浩之氏 (福祉社会デザイン研究科社会福祉学専攻博士後期課程)

「子ども虐待ソーシャルワークにおける「協働」関係の構築－保護者の「折り合い」への「つなげる」支援の交互作用－」

3. 我謝美左子氏 (福祉社会デザイン研究科ヒューマンデザイン専攻博士後期課程)

「母子生活支援施設における関係構築に関する研究」

13：00～13：30 年次総会

13：30～14：30 基調講演

「ソーシャルワーク実践におけるストレングスの視点－津久井やまゆり園事件を通して、我が国のソーシャルワークとストレングスを考える－」

講師：高山直樹会員 (社会学部社会福祉学科教授)

14：40～16：30 シンポジウム

『ソーシャルワーク実践におけるストレングスの視座』

司会：志村 健一 会員 (社会学部社会福祉学科教授)

話題提供：

岩田千亜紀 会員 (社会学部社会福祉学科助教)

「高機能自閉スペクトラム症圏の母親のストレングスに焦点を当てた支援のあり方」

小泉 隆文 会員 (社会学部社会福祉学科助教)

「福祉作業所におけるストレングス視点を考慮した知的に障害のある人への支援」

指定討論：

高山直樹会員 (社会学部社会福祉学科教授)

丸山晃会員 (社会学部非常勤講師)

16：30 閉会式

17：00～18：30 懇親会

(会場：8号館1階トレスダイニング)

●総会報告事項

1. 会員数について：195名 (2017年7月現在)

2. 2016年度の会計・事業報告がなされた。

(ア) 会計報告：2016年度会計の決算が報告・承認された。

(イ) 事業報告：ニュースレターの発行 (第26号 2016年6月、第27号 2016年7月、第28号 2016年12月)、東洋大学社会福祉学会第12回大会開催 (2016年7月31日)、機関誌『東洋大学社会福祉研究』第9号発刊 (2016年7月) が報告された。

●総会審議事項

1. 2017年度の事業計画案と予算案が審議され、承認された。

2. 〔会則：第10条〕に基づいて、下記の役員改選が行われた。

〔現在の体制〕○：改選

役員：顧問：坂口順治先生・天野マキ先生・古川孝順先生

会長：秋元美世 (本学教授・社会福祉学専攻主任)

事務局長：志村健一 (本学教授)

会計監事：熊田博喜 (武蔵野大学教授)

理事 (研究大会担当)：

藪長千乃 (本学教授)

理事 (機関誌担当)：

荻野剛史 (本学准教授)

理事 (財務担当)：

○林大介 (本学助教) ⇒ 小泉隆文 (本学助教)

理事 (学会ニュース担当)：

○門美由紀 (本学助教)

⇒ 岩田千亜紀 (本学助教)

理事 (同窓会担当)：

後藤広史 (日本大学准教授)

理事 (同窓会担当)：

相馬大祐 (国立のぞみの園研究員)

理事 (HP担当)：

小櫃俊介 (大学院博士後期課程3年)